

## 層別分析に係る留意事項

平素は大変お世話になっております。

さて、令和4年3月に「アスベスト分析マニュアル」が【第2版】に改定されました。

それに伴い、弊社における層別分析に係る留意事項を下記にまとめましたのでご確認の上、ご依頼をお願い申し上げます。

### A 分析方法

層別分析は JISA1481-1(層別分析)による定性分析となります。

### B 層別分析不可の試料

下記B1～B3の試料は層別分析できない場合があります。

#### B1 固まりでない試料



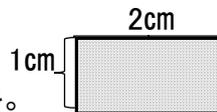
#### B2 少量の試料

層別分析するためには下記①～③の条件にかなった少量でない試料が必要です

① 試料の総面積は5cm×5cm程度必要。

② 一欠片のサイズが2cm<sup>2</sup>以上必要。

③ 下地まで深く削り、下地が均一に付着している試料。



#### B3 剥離剤、溶剤等で溶かされた試料

剥離剤、溶剤等で溶かされた試料は層別分析できません。

### C 別検体扱い

下記試料は別検体扱いとなり、分析料金も変わります。

① 複数箇所の試料(同一試料であっても3箇所採取の場合は3検体となります)

② 1箇所の試料に層構成が異なる複数の試料

### D 分析方法の変更

層別分析不可試料や別検体扱い試料を混合する場合は、JISA1481-2による定性分析となります。なおJISA1481-2では層別分析できません。

2022年6月6日

株式会社エルエフ関西